

## 第2回 「対日直接投資促進戦略」重点事項推進ワーキング・グループ 知事意見

「第2回 「対日直接投資促進戦略」重点事項推進ワーキング・グループ」開催にあたり、地域への呼び込みの強化に向けた課題や提案などについて、次のとおり意見を述べる。

### 記

北海道は、今年3月、「第5回 対日直接投資促進のための中長期戦略検討ワーキング・グループ」の場で、「地域資源の活用促進」と「地域の受入環境の整備」が課題との意見を述べたところであるが、今年度も引き続き採択頂いたRBC事業などによる対日直接投資の推進経過を踏まえ、次の事項が課題と認識したところである。

- ・ 国内市場の縮小やロシアによるウクライナ侵略といったグローバルリスクも顕在化する中、地域振興につながる良質な投資を呼び込むことが重要であり、誘致対象国・企業のリスクを充分に見極めた投資案件の提供や、地域においてリスクマネジメント力を高めていけるノウハウの提供などの支援をお願いしたい。
- ・ 首都圏に集中している投資を地方に呼び込むためには、行政、金融機関、地域事業者など地域の関係者が、地域資源をビジネスに結びつけ、地域の付加価値向上に繋げていけるノウハウやスキルを身につけていくことが重要であり、企画力やプレゼン力を有する地域人材育成に向けた専門家の長期的な派遣や地域人材育成プログラムの充実をお願いしたい。
- ・ 海外からの投資を受け入れる際、候補地選定に至るまでの段階については、ジェトロ等の支援を頂き進めているが、候補地として選ばれた後、投資を確実に地域に定着させるための地域内の各種調整など、投資完了に至る段階まで支援範囲の拡大をお願いしたい。
- ・ 人口減少社会による人手不足が深刻化する中、地域における雇用確保は重要な課題であり、地域が、地域内はもちろんのこと、首都圏や海外も含めて、多様な人材を幅広く集め、育成し、定着して頂くための環境づくりに向けた支援をお願いしたい。